

令和6年第1回（3月）  
粕屋町議会定例会

質問順一覧表

質問順	議員氏名
1	田川正治
2	福永善之
3	古家昌和
4	宮崎広子
5	井上正宏
6	川口 晃
7	本田芳枝
8	案浦兼敏
9	杉野公彦
10	山脇秀隆

質問順 NO. 1 質問者10番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>地震・台風・豪雨などの自然災害に対する、公共施設などの避難所の確保と環境整備について</p>	<p>(1) 小中学校体育館、かすやドーム、サンレイクかすや、粕屋フォーラム、粕屋町福祉センター、各行政区公民館などの災害避難所における、災害避難者が安全で安心して避難できるための環境整備の現状と今後の計画について</p> <p>①公共施設の耐震診断と耐震強化の改修について                  ②小中学校体育館のエアコン設置工事について                  ③公共施設の洋式トイレ工事や簡易トイレの設置について                  ④個人住宅などの耐震改修工事の助成について</p> <p>(2) 高齢者や障がい者など要援護者と妊婦や乳幼児などの社会的災害弱者への食料や寝具・衣服などを提供するための備蓄について</p> <p>(3) 防災無線の設置箇所の増設や改修と計画について</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>道路や河川・水路の冠水・氾濫被害の防止対策について</p>	<p>(1) 多々良川沿いの大川小学校や幼稚園横の堤防、雨水・長福寺地域の堤防の嵩上げ工事や浚渫工事について</p> <p>(2) 粕屋西小学校や西幼稚園西側の洪水対策や、須恵川の浚渫工事について</p> <p>(3) 水路から道路や住宅地に冠水する地域の水害防止用地下貯水槽や調整池設置の建設工事や計画について</p>	<p>町長</p>
<p>「粕屋町地球温暖化対策実行計画」におけるCO2削減施策と耐震工事の推進について</p>	<p>(1) 公共施設や事業所、農家や個人の住宅などの太陽光発電設置の助成や、住宅の耐震工事の助成について</p> <p>(2) CO2削減と省エネ、再エネに効果があるゴミ分別収集の拡大と、再使用・再生利用の取組について</p>	<p>町長</p>
<p>粕屋町での18歳までの子ども医療費の助成拡大について</p>	<p>(1) 18歳まで医療費の助成を拡大するために必要な予算額について</p> <p>(2) 国は自治体独自の医療費助成にかけていた国保のペナルティを廃止するが、町への影響は。</p>	<p>町長</p>

質問順 NO. 2 質問者 11番 福永善之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>学校給食の食品ロスについて</p>	<p>兵庫県川西市の中学校で始まった“給食のふりかけ持参”がSNSで話題となっている。</p> <p>内容は、2023年4月、市長と中学生との意見交換会の場で、生徒から給食の食べ残しを防ぐために「ふりかけ持参を認めてほしい」との要望があり、教育委員会が同年9月から条件付きで認めたようだ。</p> <p>(1) 粕屋町の中学校2校の食品ロスの現状は。</p> <p>(2) 生徒の提案が同市の政策に反映された事例であるが、この事例に関し、粕屋町教育委員会として何か意見・考えはあるか。</p>	<p>教育長</p>
<p>粕屋町が設置する協議会等の人選について</p>	<p>文教厚生常任委員会は、議会活動の一環で、粕屋町保護司会と意見交換会を行った。</p> <p>保護司一人からの発言に興味を持った。</p> <p>発言者は、本職である仕事を持ちながら保護司の業務をこなしておられる。</p> <p>内容は、ほぼ無報酬の保護司としての業務には、熱意を持ち、取り組んでおられるが、一方で、行政側からの行事等への出席依頼に対し、本職も持つ者として、時間のやり繰りに苦慮している意見であった。</p> <p>(1) 保護司を始め、町や国等の機関が設置する協議会等への人選は、定年退職後の人達を中心に比較的時間的余裕のある層や宛職的に各種団体の役職者層で占められている傾向がある。</p> <p>町の協議会等の人選の考えは（世代間比率、男女間比率、地元・非地元の比率等）。</p>	<p>町長 教育長</p>

質問順 NO. 3 質問者 1番 古家昌和

質問事項	質問の要旨	質問の相手
大谷翔平選手のグローブについて	<p>(1) 広報紙やSNSで情報発信されていますが、学校・児童・保護者及び住民などからの反響は。</p> <p>(2) 町内各校でのグローブの管理方法や使用規則は。また、住民から観てみたい、触れてみたいとの要望があった場合の対応は。</p>	町長 教育長
口腔歯科検診について	<p>(1) 住民対象の口腔歯科検診実施の経緯と経過、現状は。</p> <p>(2) 職員への口腔歯科検診の現状は。</p>	町長
能登半島地震被災地域への支援について	<p>(1) 現在までの被災地支援の内容と被災者の受け入れ体制は。</p> <p>(2) 1月5日、石川県鹿島郡中能登町へ向け本町職員2名でトラックを自ら往復運転し、単町で支援物資を届けました。 近隣町では2町協力して、概ね1月10日以降の支援活動を行っていますが、約920Km離れた被災地への支援を急いだ理由は。</p>	町長
学校運営協議会について	<p>(1) 平成30年4月「地域とともに子どもたちの未来を創造しよう」とスローガンを掲げ、町内6校で立ち上げた「粕屋町学校運営協議会」がまもなく6年を経過します。この協議会がこれまでに地域や学校に与えた主な事例や影響と今後のロードマップについてお尋ねします。</p> <p>(2) 学校運営協議会を構成する各委員の役割は。</p>	教育長

質問順 NO. 4 質問者 4番 宮崎 広子

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>粕屋町立小中学校の働き方改革について</p>	<p>小中学校の働き方改革について問う。</p> <p>(1) 小中学校の教員の働く物的環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室、更衣室、休憩室の環境整備は。</li> <li>・教室において緊急事態が起こった時の連絡の取り方は。</li> </ul> <p>(2) 人的環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校における専科教員の配置は。</li> <li>・年次有給休暇及び病欠休暇等の取得時の補助教員の配置は。</li> <li>・教員業務支援員の確保は。</li> <li>・副校長、教頭に対するマネジメント支援員の確保は。</li> <li>・中学校のクラブ活動で時間外勤務になった時の振替措置及び部活の民間委託の実態は。</li> <li>・スクールロイヤーの役割とその実際の活動は。</li> </ul> <p>(3) 勤務時間外措置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土日勤務の振り替え及び、生徒指導や不登校支援のための時間外勤務について、次の日に遅れて出勤するなど、疲れを早く回復する対策がとられているか。</li> </ul> <p>(4) メンタルヘルス不調のため長期休職になっている教員の割合は。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>粕屋町のこども家庭センターについて</p>	<p>(1) 4月より開設されるこども家庭センターの役割や事業計画、これまでと違う大きなポイントは。</p> <p>(2) こども家庭庁よりこども基本法がSNSで周知された。町民への周知は。</p> <p>(3) こどもまんなか応援サポーターの周知や取り組み計画は。</p> <p>(4) 若者や子どもの意見を反映する取り組みについて、こども家庭センターをつくるときに、意見を聞いたか。また、これから聞く計画はあるか。</p>	<p>町長 教育長</p>

質問順 NO.5 質問者 6番 井上正宏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>新たな町立保育所の役割「保育・子育て支援センター」の構築について</p>	<p>(1) 公的機関・行政との連携拠点としての役割を果たし、町内の子育て支援・連携を行う町内保育所連携の要とする事について考えを問う。</p> <p>(2) 保育士の確保と人材育成の拠点となり、保育力のレベルアップと、現場の把握、環境の在り方についての研究を行う保育士の研修拠点とすることについて考えを問う。</p> <p>(3) 障がいなど個別に支援を必要とする子どもに、適切な発達支援及び援助の在り方を研究し、困難事例に対応することについて考えを問う。</p> <p>(4) 小規模保育所などへの支援拠点とすることについて考えを問う。</p> <p>(5) 子育て世代への総合的な支援を行うことについて考えを問う。</p> <p>(6) セーフティネットとしての役割を持つ、緊急時・災害時に受け入れ可能となる体制について考えを問う。</p>	<p>町長</p>
<p>福岡県の推進事業におけるワンヘルスについて</p>	<p>(1) 福岡県が推進しているワンヘルス事業の考えを問う。</p> <p>(2) 粕屋町としてワンヘルスにどのように関わっていくのか、考えを問う。</p> <p>(3) 学校教育においてワンヘルスの授業等が令和5年度から公立高校へ導入され、今後義務教育（小・中学校）に拡大していく国や県の構想を踏まえ粕屋町のワンヘルス教育の考えを問う。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p>

質問順 NO. 6 質問者 9番 川口 晃

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>「高齢者の補聴器購入に町独自の助成」を要請する。</p>	<p>(1) 福岡県の助成措置の現状どうなっているのか。また、独自に実施している自治体数はどれ位かを問う。</p> <p>(2) 粕屋町として、「県の助成の上乗せ」助成は出来ないか。</p>	<p>町長</p>
<p>ジェンダー平等を進める施策について問う。</p>	<p>(1) 粕屋町としての具体的な施策はどのようなものがあるか。</p> <p>(2) 会計年度職員の待遇改善の方策について問う。                      ①各部の「正規を100とした場合の非正規の賃金割合」と「正規の男性職員を100とした場合の非正規の女性職員の賃金割合」を表によって示して下さい。                      ②令和5年の待遇改善に関する政府通達の説明を。                      ③各項目について粕屋町はどのように対応したのか。                      ④令和5年度の昇給の際、遡及行為は実施されたのか。                      ⑤勤務時間のフルタイムは実施されたのか。                      ⑥勤務期間の更新で、本人の意思に反する更新取り止めはあったのか。</p> <p>(3) 小中学校の教員の定数問題について問う。                      ①加配の種類とその員数について。                      ②正規教員と講師の配置問題について問う。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>子ども子育て政策に関して問う。</p>	<p>(1) 子供の貧困状況について説明してください。                      ①貧困とは何か。                      ②子どもを対象とすると粕屋町においては、何名が該当しているのか。統計的資料はあるのか。</p> <p>(2) 粕屋町としての支援（教育・経済・生活・就労）の状況について説明を。</p> <p>(3) 貧困の連鎖を防止するために、高校生・大学生に対する町独自の奨学金制度、また支援制度は考えられないか。</p> <p>(4) 小中学校において、生徒の家庭の状況を把握するような支援加配の配置の制度はあるのか。</p>	<p>町長 教育長</p>

質問順 NO. 7 質問者13番 本田芳枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
水道管、水道施設の耐震化について	<p>水道は町民生活・町政運営に欠かせないライフラインです。能登半島地震の復興においても、水道の復旧が復興の大きなカギとなっているようです。町の耐震化対策を問います。</p> <p>(1) 水道管・水道施設等の耐震化の取り組みの現状は。                      (2) 水道管の耐震化率は。                      (3) 今後の計画、具体的な取り組みは。</p>	町長
学童保育の待機について	<p>2つの小学校において、次年度3年生児童の保護者から、学童保育所に入所できなくなったという通知があり、困っているという相談を受けています。現状と今後の課題について問います。</p> <p>(1) 令和6年度の希望者に対する各学年の入所率は。併せてここ2～3年の動向は。                      (2) 入所できなくなった児童・保護者への対応は。                      (3) 共働きが増えている中で今後の対策は。                      (4) 子どもの放課後の安全な遊びに対する教育委員会の考えは。</p>	教育長
公立保育所の役割における保育の質の向上と専門家の登用について	<p>中央保育所の建設が完了し、新しい園舎で保育が展開されています。保育の質の向上において、まず子どもの育ちを考えるうえで遊びを通して学ぶ保育の在り方、養育者支援のための専門家の登用など町の取り組みを問います。</p> <p>(1) 子どもの最善の利益を優先する保育の質の向上のために保育士の研修が急務ですが、その取り組みは。                      (2) 特別な支援を要する子どもや様々な困難を抱える保護者支援のための専門家の登用は。</p>	町長
パブリックコメント募集の時期について	<p>2月20日の時点で、町のホームページに4つのパブリックコメント募集がなされています。締め切りがそれぞれ3月1～12日となっています。従来ではこれら計画の発表は3月となっています。今までの流れを踏襲するとなれば、令和6年度の予算の中にすでに予算化された事業も含まれていると思います。募集時期の検討が必要では。</p> <p>(1) なぜこの時期での募集なのか。                      (2) 策定委員会の準備、経過報告の流れ、傍聴者の募集などの対応は。                      (3) 議会に対する対応は。</p>	町長



質問順 NO. 8 質問者 7番 案 浦 兼 敏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
令和6年度施政方針について	<p>令和6年度施政方針について町長の考えを問う。</p> <p>(1) 「職員が失敗を恐れず勇気をもってチャレンジできる環境整備」について、具体的な仕組みづくりは。</p> <p>(2) 第6次総合計画の策定スケジュールと組織機構改革のねらい・考えは。</p>	町長
ボール遊びができる公園を	<p>ボール遊びができる公園づくりについて町長の考えを問う。</p> <p>(1) 粕屋町には、ボール遊びができる公園はあるのか。</p> <p>(2) 公園でボール遊びをしたい子どもや保護者からの要望があるが、町としては、公園でのボール遊びについて、どのように考えているか。</p> <p>(3) 公園に「危険なボール遊びは禁止する」との看板が立っているところがあるが、「危険なボール遊び」とはどのようなものか。どのようなボール遊びができるのか。</p> <p>(4) 全国的にボール遊びの一律禁止を見直す動きがある。「公園のボール遊びのルール」を具体的に定めたり、「ボール遊びのできる公園マップ」を作成したり、さらには、「ボール遊びのできる公園づくり」を進めている自治体もある。</p> <p>これらの動きについて、「こどもまんなか社会」の実現を目指している箱田町長の考えは。</p>	町長
都市計画道路の整備促進と財源について	<p>都市計画道路の整備促進と財源について町長の考えを問う。</p> <p>(1) 令和6年度当初予算に調査費が計上されているが、その調査の対象路線、調査の内容、実施スケジュールは。調査結果についてどう活かすのか、町民へ公表するのか。</p> <p>(2) 都市計画道路の整備について、県決定と町決定の都市計画道路の財源の違いは。国・県の支援（補助金など）はどうか。</p> <p>(3) 他都市では、都市計画道路等の整備推進のための財源として都市計画税が大いに役に立っていると聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画税の目的、使途の範囲、課税の方法などはどうなっているのか。</li> <li>・粕屋町において都市計画税を徴収した場合、どの程度の税収が見込まれるのか。</li> </ul> <p>(4) 全国的に見ると、人口が上位の町（粕屋町は第5位）では都市計画税を課税している。市制に向けて都市計画道路等の整備促進のため、都市計画税を検討してはと思うが、町長の考えは。</p>	町長

質問順 NO. 9 質問者 3番 杉野公彦

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>当町における一般競争入札の推進について</p>	<p>(1) 令和4年度の決算資料を分析したところ、当町における一般競争入札の導入状況は入札案件総数の約60%であった。 地方公共団体が発注を行う際は一般競争入札が原則とされているが、町長はこの現状をどう考えているのか。</p> <p>(2) 指名競争入札が入札案件の40%を占めるような、特別な理由等は存在するのか。</p> <p>(3) 今後、指名競争入札から一般競争入札に移行させていくことが必要であると思うが、その考えはあるか。</p>	<p>町長</p>
<p>一般廃棄物収集運搬許可に対する町の方針について</p>	<p>(1) 当町では、一般廃棄物収集運搬許可に関して、収集運搬が困難な状況にないということで許可しないという方針であると理解しているが、その考えに変更はないか。</p> <p>(2) 現状、家庭系ごみの収集運搬は委託により行われているため、許可により収集運搬が行われているものは、事業系ごみを中心となると考えるが、これに間違いはないか。</p> <p>(3) 町長は市制を目指されており、九州大学農場跡地の開発や町内に様々な開発計画が検討されている中、企業誘致も進められようとしている。 これにより、事業系一般廃棄物が増加することが予想され、事業系一般廃棄物に限定した収集運搬許可も必要と考える。町長の考えは。</p>	<p>町長</p>

質問順 NO.10 質問者14番 山脇秀隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>令和6年度施政方針について</p>	<p>令和6年度の施政方針は、当初予算の方向性を示すとともに今後の町のウェルビーイングなまちづくりの施策がちりばめられていると思います。今回は、町長の集大成的な思いの詰まった内容になっています。新任の池見副町長を据えて、期待が膨らむばかりです。そこで重点施策や新たな事業の町長の思いを聞きます。</p> <p>(1) 「こどもまんなか社会」の実現、「子育て応援都市かすや」を実現してこどもと家庭を支援するための中核拠点として第2こども館を建設するとし、建設地の選定にあたるとしています。第2こども館について聞きます。</p> <p>(2) モビリティ導入や交通結節点としての機能強化のため粕屋町主要駅の整備を進めるとあります。具体的にどのようなものか聞きます。</p> <p>(3) 様々な補助支援や助成、そして防災対策、図書館の業務効率を図るICTタグシステムの導入などの事業を展開するとしています。また、5月に開催されるバラ祭りは、20周年を迎えます。記念事業や新規事業、そして助成の拡大など財政負担も多いと思います。町長が考えるところは何か聞きます。</p> <p>(4) 第6次総合計画の策定に伴い、組織の機構改革やBPR（業務改善）を実施し、市制を見越した総合計画を策定するとしています。市制について聞きます。</p>	<p>町長</p>